

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(本格型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR203E
採択年度	: 2020年度
分野	: 第3分野
研究開発課題名	: 多孔性配位高分子を用いた高性能メタン吸着材料の開発
プロジェクトリーダー 所属機関	: 株式会社 Atomis
研究責任者	: 北川 進(京都大学)

評価結果の総合所見

本テーマは、多孔性配位高分子 PCP を用いて、貯蔵・運搬技術並びに温暖化ガス漏洩防止技術に適用可能なメタンを効率良く吸蔵できる材料を開発するものである。

概ね目標を達成し、次の研究開発フェーズ移行に必要な成果が得られた。イノベーション創出が期待できる。

低圧用、高圧用材料としてそれぞれ企業化への道筋が示されていることは評価できる。また、MI の適用による探索効率化を含め、実用を十分に見通せる新機構機能材料や新規機構の発見まで導いている点も評価できる。

繰り返し吸脱着性能といった長期的な特性評価など、実用上重要な試験を推進してほしい。また、学術的なメカニズムを示すことが今後新しい材料を開発していくうえでは必須と考えられる。これらを明確にして、より可能性の高い材料を開発してほしい。

以上